

つくば産業フェアの産総研ブース内に 「移動地質標本館」を出展しました

吉田 朋弘¹⁾・酒井 彰²⁾

1. はじめに

2008年10月11日(土)–12日(日)に、つくばカピオ(茨城県つくば市竹園)において開催された「つくば産業フェア」の産業技術総合研究所ブース内に移動地質標本館として、ポスター・試料の展示を行いました。(写真1)

時期的に人の配置が困難であったため、簡易かつ自由にお寄りいただけるよう考慮し、展示を考えました。5/10–11に行われた「つくば科学フェスティバル」とは異なり、飲食や地場産業ブースの多いお祭りで、一般のお客さんが多数ご来場いただいたようです。つくば市長にもお立ち寄りいただき、その際にはちょっと緊張しました。つくば市在住の私ですが、実際に市長にお会いするのは初めてでした。

2. 展示内容

以前、つくば市と当所の研究者で「筑波山地質見

学ガイド」を作成しました。TX(つくばエクスプレス)開通により、都内や近郊から多くの方が、気軽につくば市内や筑波山にお越しいただけるようになりました。そこで、観光ガイドの地質版として「筑波山地質見学ガイド」を作成したわけですが、このガイド配布を主目的として、全体展示を考えました。

- ・「筑波山の地質」A0版ポスター1枚は、「筑波山地質見学ガイド」に引用されているデータの中から一部抜粋し、簡易に筑波山の地質を紹介しているポスターです。
- ・「つくばの街の岩石めぐり」A0版ポスター2枚は、TXつくば駅周辺で使われている様々な種類の石を紹介しています。散歩の途中に脚を止めて確認していただき、散歩を楽しむ一因になれば幸いです。
- ・「試料(岩石)展示」は、筑波山の花崗岩やいくつかの種類 of 岩石を展示し、自由に触れてもらいました。
- ・「資料展示」:「筑波山地質見学ガイド」402部、「標本館パンフ」140部、「石を見る(産総研2007 No.2)」200部、「地震をもっと知るために」152部を、来場者にお持ちいただきました。

3. 最後に

少し反省の残る出展でした。次回、出展協力依頼があった際には、お客さんと交流できるような出展が出来たらいいと考えています。

YOSHIDA Tomohiro and SAKAI Akira (2009) : Display of Geological Museum, GSJ, AIST in Tsukuba Industry fair.

<受付:2009年1月20日>



写真1 産総研(AIST)ブース内に地質標本館から出展。

1) 産総研 地質標本館

キーワード:つくば産業フェア, 2008年, つくばカピオ, 産業技術総合研究所, 地質標本館